

令和7年度 第4次将来構想をふまえた競技スポーツ関係事業について

		達成状況（見込みも含む）
目 標	① 国民スポーツ大会都道府県総合成績 天皇杯15位・皇后杯15位	○ 天皇杯10位（1,317.5点）・皇后杯9位（764.5点）
	② オリンピック競技大会への出場選手数 パリ大会25名 ミラノ・コルティナ冬季大会5名	△ パリ大会 17名
数値目標	○ トップチームによる次世代アスリートとの合同練習の実施 【連携組織加盟チームの100%】	○ 100%（13/13チーム）
	○ 全国トップレベル指導者の年間を通した招聘 【年間5競技団体以上】	○ 12競技団体
	○ 日本スポーツ協会公認指導者資格『コーチ1』『コーチ2』の取得 【年間5競技団体以上】	○ 9競技団体
	○ 日本スポーツ協会公認指導者資格『コーチ3』『コーチ4』の取得 【年間5競技団体以上】	○ 7競技団体

第4次将来構想 事業名	令和6年度		令和7年度
	推進内容	達成状況（見込みも含む）	推進内容
1-① トップチーム連携支援 GIFUトップチーム連携プロジェクト	運動遊びや競技体験の機会の積極的な創出	○ ユナイスポフェス2024（スポーツ体験）の実施 運動遊びを取り入れた体育の実施（県内6地区20小学校訪問）	「ユナイスポフェス2025」：年1回 「つよいぞ！ぎふっ子プロジェクト」：年間20小学校訪問
2-① スポーツ科学・高地トレーニングの活用 岐阜県清流アスリート強化指定選手サポート	GSSC・濁河TCにおける県強化指定選手・団体に対する科学サポート	○ スポーツ科学 強化指定団体14団体・強化指定選手25名 延べ3,376件（パラアスリート含む） ○ 高地トレーニング 強化指定選手：10名・延べ30日間 強化指定団体：2団体・延べ13日間 （12月末日現在）	フィットネスチェック（体力測定）、フィジカルトレーニング、スキルチェック（動作分析）の3つの分野から科学的根拠に基づいた競技力の向上支援
2-② スポーツ科学を活用した指導者養成 講師派遣事業	強化指定チーム等の指導者へ理論・実践方法伝達	○ 3団体へ派遣	GSSC・濁河TCで取り組んでいる科学サポートの理論や実践方法を伝達し、科学的根拠に基づいた指導者の養成
3-① 指導者資格取得支援 コーチライセンス取得支援事業【独自事業】 上級コーチライセンス取得支援事業【県補助事業】	JSPO公認コーチ1・2・3・4資格取得支援	○ 【独自事業】 9競技団体10名への支援 【県補助事業】 7競技団体11名への支援	競技団体の指導者養成計画に基づいた資格取得への補助支援 「上級コーチライセンス取得支援事業」：5～10団体への支援
3-② 次世代指導者の養成支援 優秀指導者招聘事業	トップレベルの優秀な指導者を招聘する競技団体支援	○ 12競技団体支援	競技団体が抱える指導法等の課題を解決するために計画された事業への補助支援 5～10団体への支援
3-③ 優秀選手就業支援と活用 ※事業としては実施しない	将来県内で指導者となっていく優秀選手の就業支援	— 随時実施中	必要に応じて随時実施を検討
4-① ジュニアからトップアスリートまでの育成・強化 国スポ強化対策事業 未来の清流アスリート育成事業	日本一を目指す選手やチームを育成できる競技団体支援	○ 国スポ強化対策事業：41競技団体の支援 未来の清流アスリート育成事業：38競技団体の支援	県競技スポーツ課と協議し内示額の決定 競技力向上を目的とした事業への継続的な支援 競技団体から提出された計画書及び報告書の精査
4-② 次世代アスリート発掘・育成 清流の国ジュニアアスリート育成プロジェクト	優れた運動能力を有する小中学生の発掘と育成を推進 専門スタッフによる運動能力測定と記録分析を実施	○ 第1次選考会（6会場）：小学4年生140名、小学6年生94名 第2次選考会（1会場）：小学4年生49名、小学6年生34名 本プロジェクト出身者の本国スポ出場者：20名	県と連携し、「清流の国ジュニアアスリート育成プロジェクト」に参加するジュニアアスリートの発掘と育成
5-① 競技団体連携支援	チーム岐阜の一体感や結束力を高めるため、国スポ期間中の競技成績等を競技団体同士で共有（公式LINEアカウントの活用）	○ 実施 公式LINEアカウント登録者数 231人（1月23日現在）	公式LINEアカウントの継続と周知徹底 競技団体が抱える課題を把握した上での好事例の情報共有
5-② 競技団体組織強化支援 競技別競技力向上検討会等	競技担当制による強化練習等への定期的な視察とヒアリング実施 JSPO公認アシスタントマネージャー資格の取得を推進	○ 【強化練習等視察】年間を通して実施 【競技別競技力向上検討会】6～7月と12～1月の2回実施 【アシスタントマネージャー養成講習会】競技団体関係者3名受講	「強化練習等視察」：目的や課題を明確にした上での効果的なアプローチ 「競技別競技力向上検討会」：前期（6～7月）東海ブロック大会及び本大会に向けての対策及び重点事業の確認、後期（12月）結果や取り組みの振り返り及び次年度に向けた強化体制の確認 「アシスタントマネージャー養成講習会」：取得促進に向けた開催案内の周知徹底
6-① 競技スポーツを支える体制強化 競技力向上対策事業	本県と競技力が拮抗している都道府県を視察して競技団体へ還元	△ 視察は実施していないが、様々な視点から各都道府県の競技力を分析して競技団体へ情報提供	様々な視点から各都道府県の競技力を分析して競技団体へ情報提供 ※都道府県視察については、滋賀国スポの結果を踏まえて検討
6-② トップアスリート拠点クラブ運営・支援 岐阜メモリアルセンタートップアスリートクラブ トップアスリート拠点クラブ助成事業	陸上クラブは一旦休止とし、他の競技で実施できないか検討 クラブ形態のトップチーム支援	△ トップアスリートクラブとしての活動はないが、施設を活用し様々なスポーツ教室を展開している。 トップアスリート拠点クラブ助成事業は4クラブへ支援	本施設を活用し様々なスポーツ教室を継続し展開 「トップアスリート拠点クラブ助成事業」：該当4クラブへの支援
6-③ 本会管理施設の確保 競技力向上対策事業	大規模イベント以外の競技力向上対策事業で、岐阜メモリアルセンター施設の利用希望がある場合は、前年度中に優先予約を受付	○ 4月～5月の調査を1月上旬に実施 6月～3月の調査を1月下旬～2月上旬に調査を実施、その後調整予定	施設課と連携し、優先利用の継続的な支援
6-④ 特殊な器具及び用具の整備 特殊器具整備事業	特殊器具の購入により競技力向上が期待できる競技団体支援	○ 5競技団体の支援	該当5競技団体への支援及 過去に納品された器具の現地調査